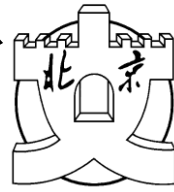
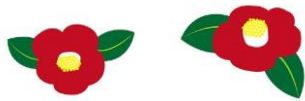


# かささぎ



北京日本人学校  
学校通信 1月号  
平成30年1月30日  
校長 奥田 修也



## 夢

教頭 山中 正明

この学校通信「かささぎ」を読んでいただくのは1月の下旬です。お正月の「初夢」の話には少し遅すぎますが、「夢」について書こうと思います。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピックやパラリンピックのお話を聞く機会が何回かありました。その方達のお話になぜ登場するのが「夢」についてでした。「オリンピックに出場して、金メダルを獲ることが夢でした。」陸上、水泳、柔道、レスリング、サッカー……。小さい頃から色々な種目で「夢」を目指して頑張ってきた人たちです。練習が辛いときも、泣きたくなかったときも、「夢」があるから頑張れたというお話を聞くことができました。ある女子水泳選手のお話が印象的でした。金メダルを目指して予選レースを勝ち上がり、いよいよ決勝レースの始まる直前に、自分で自分に言い聞かせました。「あれだけ練習したのだから大丈夫。いつもと同じ気持ちで泳げばメダルはもう手の届くところまで来ている。」そう思った瞬間、気が付いたそうです。『夢が目標になった！』オリンピックでメダルを取るという大きな大きな夢は、自分の努力によって「目標」に変えることができます。達成可能な目標になったとき、夢は叶（かな）います。

元サッカー女子日本代表選手、2011年FIFA女子ワールドカップ優勝キャプテンで有名な澤穂希（さわ ほまれ）選手はこのような言葉を残しています。「夢はみるものではありません。叶（かな）えるものです。」自分の力で、努力で夢を叶えた澤選手だからこそ言える言葉です。大切なことはまず「夢をみる」ことなのです。

3学期が始まって低学年から高学年、中学生まで、どのクラスでも学活で「今年の夢」や「新年の抱負」を書いたり、発表し合ったりしていました。「宇宙飛行士になって宇宙へ行きたい」「大きくなったらアニメの声優さんになりたい」「バスケットボールの選手になってオリンピックに出たい」子どもたちのみる夢は、一人一人みんな違います。夢と現実にはさまれている大人にとっては本当にうらやましい限りです。お正月のテレビ番組で「初夢」のことを取り上げていました。「一富士 二鷹（タカ） 三なすび」静岡県的美保の松原がそのルーツだということでも興味深いものでしたが、昔から「いい夢」をみるのがとても大切にされていたことがわかります。どんなにかわいいペットのイヌやネコも、動物園の人気者のパンダやライオンも、夢はみません。夢をみることができるのは人間だけの特権です。小学部の児童も、中学部の生徒も大きな夢を持って2018年に臨んでほしいと思います。まもなく韓国の平昌（ピョンチャン）で冬季オリンピックが始まります。2年後には日本の東京で夏季オリンピック、そして4年後にはこの北京で冬季オリンピックと続きます。夢に向かって頑張っている選手の姿を目に焼きつけると、大きな夢が見えてくるのではないのでしょうか。

小学部では東京2020大会マスコットの小学生投票が行われました。右のア～ウに各クラスで1票ずつ投票しました。結果は2月下旬から3月に発表されます。



# 国際交流ドッジボール大会を終えて

低学年部



1月19日(金)にフランス国際学校で国際ドッジボール大会が開催されました。今年もフランス国際学校とドイツ大使館学校,そして我々日本人学校の3校が参加しました。

開会セレモニーの子どもたちのスピーチには、「勝ち負けだけでなく、協力して楽しんでドッジボールをしましょう。」という言葉がありました。その言葉通り、身振り手振りや英語,中国語を使いながらコミュニケーションを取ろうとしたり,試合を一緒に楽しもうとしたり,応援したりする姿が見られました。試合終了の鐘の音が会場に響くと,他校の子どもたちとともに喜び合う姿が見られました。

開会セレモニーでは,プレゼント交換をしたり,「幸せなら手をたたこう」を英語で全員で歌ったりしました。言葉は違えど,ともに汗を流した後に声を合わせて歌う子どもたちの表情は,最初とは違いどこか清々しい様子でした。他国の同年代の子どもたちとスポーツを通して交流できたことは,何よりも子どもたちにとって刺激的だったようです。来年度以降もこの大切な交流が続くことを期待しています。

## たてわり班活動の報告

特活部

北京日本人学校では,年間を通してたてわり班活動を行っています。小学部1年生から中学部3年生が一つの班を組み,一緒に活動することは,上級生にとっても下級生にとってもとても有意義な時間です。遠足や運動会だけでなく,毎週火・木のたてわり清掃など,日々の関わりで年齢を超えた信頼関係を築くことができました。中学部3年生の班長を中心に,上級生は下級生にどのように接したらよいかを考えることで,心の面でも大きく成長しました。下級生はそんな優しい上級生が大好きです。また,小学部では,6年生を中心にたてわり遊びも定期的に行っています。時間や内容,たてわり班のメンバーの顔を思い浮かべながら,どんな遊びをしようか真剣に考える6年生の姿は,とても凛々しいものでした。



## 書写作品展

学習部

1月22日(月)から2月2日(金)まで書写作品展が行われています。小学部低学年は硬筆,小学部中学年~中学部は毛筆を使って,書き初めをおこないました。小学部は授業の中で,課題を見つけながらよりよい作品を書き上げました。中学部は,席書き大会の中で最高の1枚を仕上げました。

作品が廊下に掲示されると,児童生徒は立ち止まって様々な学年の作品を眺め,「この作品とても上手」などという言葉を漏らしていました。特に優秀な作品には,「優秀賞」として,赤い花が付けられています。2月5日(月)の歓送迎式の際に表彰する予定です。

新年を迎え,新たな気持ちを表すとともに,来年度の作品展に向けての意欲を高めている様子が伝わってきました。



## たてわり 何人?

小学部				平成30年1月30日現在			
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	7	8	15	4-1	12	10	22
1-2	9	8	17	4-2	11	11	22
1-3	8	8	16	5-1	15	10	25
2-1	9	8	17	5-2	14	11	25
2-2	7	10	17	6-1	9	10	19
2-3	9	9	18	6-2	9	8	17
3-1	14	9	23	小総計	146	130	276
3-2	13	10	23				

中学部							
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	10	7	17	3-1	6	6	12
1-2	10	6	16	3-2	6	6	12
2-1	7	8	15	中総計	46	40	86
2-2	7	7	14	総合計	192	170	362